

「様々な学びの場」

生徒の皆さん、保護者の皆様、そして地域の皆様、体育大会を終え、16日から中間考査が始まっています。今回は、10月上旬の校内の様子、特に生徒達とともに教員も学び合っている取組や、講演会などについてお伝えします。

【公開授業週間を活用】

体育大会を10月3日に延期して行ったことから、4日から6日までの期間に短縮して実施。保護者の皆様も多数来校され、授業や生徒達の様子などをご覧になりました。同時に学校評議員会を開き、授業見学後に、委員の皆様から感想やご意見をいただきました。「生徒は大変熱心に取り組んでいる」「情報機器を先生方も積極的に活用している」「施設や教室環境面で工夫しながら整備を」など、貴重なご意見を今後の教育活動に生かしていきたいと思っています。



【研究授業で学び合い】

公開授業週間は、皆様にご覧いただくためだけでなく、先生方もお互いに、他教科を含めて、見て・意見を交わし高める機会にしています。右の写真は、より多くの先生方に案内し、研究授業の形で実施している様子です。授業をされた先生は、終了後すぐに参加者から意見等をもらい今後に生かそうとされています。緊張されたでしょうが、貴重な機会だと思います。



【人権講演会を通して】

6日(金)に2年生が、阪神・淡路大震災など多くの災害時に、被災された方々への支援を継続して行ってこられた方から、体験談を伺いました。高校生の皆さんには想像しがたいことも多いと思いますが、できれば他人事ではなく…感じたことを大切にしてください。



【専門家の視点や思い】

10日(火)に総合人間類型1年生が、保育の専門家から、2年生は福祉の専門家から、それぞれの仕事の具体や留意点、やりがいなどについて、実体験を交えたお話を伺いました。私も少しお聞きしながら…とても貴重だと実感できる講師の思いやメッセージなどがたくさん込められています。「生徒達は幸せだなあ」と感じるとともに、ぜひ受け身ではなく、自らの高校生活や進路にもつなげてほしい、と思います。皆様にご不便・ご心配をおかけしておりました食堂の営業を、10日から再開しています。改めて皆様のご理解・ご協力に、心よりお礼を申し上げます。感染状況等に留意しながら、今後も教育活動を進めて参ります。(校長 黒河内雅典)

